



厚生労働省の「平成26年度国民医療費の概況」によると、平成26年度の国民医療費は40兆8071億円、前年度の40兆610億円に比べ7,461億円、1.9%の増加となり、人口一人当たりでは32万1100円で、前年度の31万4700円に比べ2.0%増加しました。

年齢階級別では、0～14歳は2兆4829億円（構成割合6.1%）、15～44歳は5兆2244億円（12.8%）、45～64歳は9兆1932億円（22.5%）、65歳以上は23兆9066億円（58.6%）でした。

人口一人当たり国民医療費は、65歳未満は17万9600円、65歳以上は72万4400円で、そのうち医科診療医療費では、65歳未満が12万3000円、65歳以上が53万5700円、薬局調剤医療費では、65歳未満が3万2600円、65歳以上が12万7700円でした。

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」5兆8892億円（構成割合20.1%）が最も多く、次いで「新生物」3兆9637億円（13.6%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆2847億円（7.8%）、「呼吸器系の疾患」2兆1772億円（7.4%）となっています。

65歳未満では「新生物」1兆4992億円（13.0%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆5829億円（25.9%）が最も多くなっています。

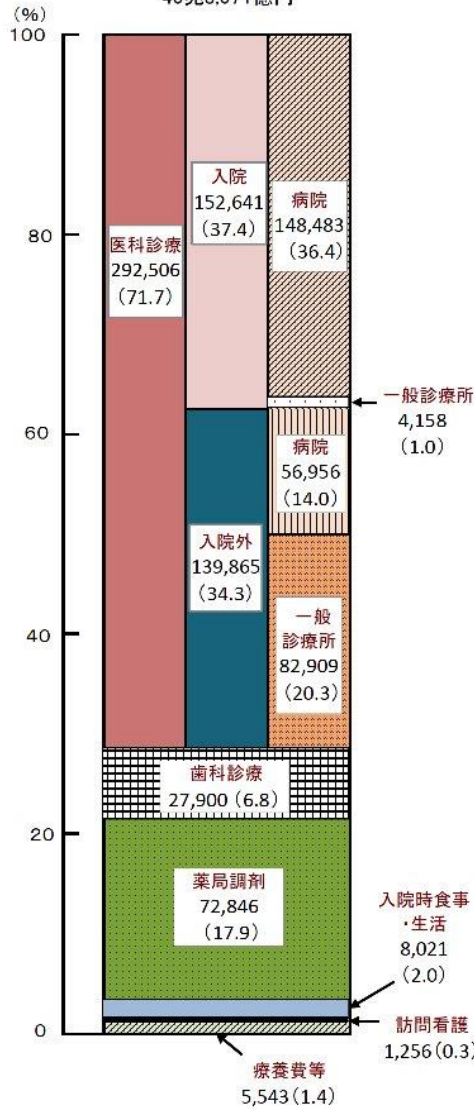
## 止まらない！ 国民医療費の伸び

# 65歳以上が約24兆円 全体の6割を占める

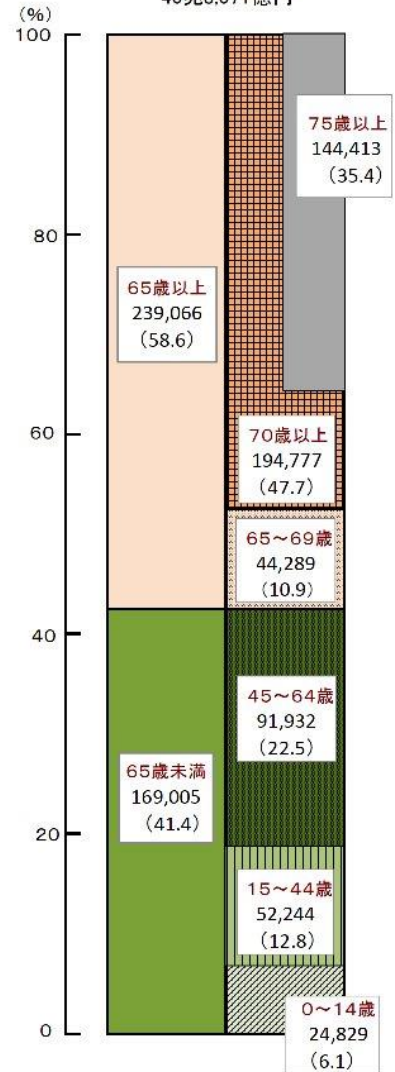
性別にみると、男性では「循環器系の疾患」（18.9%）、「新生物」（12.2%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（10.0%）が多くなっています。女性では「循環器系の疾患」（21.4%）、「新生物」（15.0%）、「腎尿路生殖器系の疾患」（8.3%）が多くなっています。

### 国民医療費の構造

診療種類別国民医療費  
40兆8,071億円



厚生労働省「平成26年度 国民医療費の概況」  
年齢階級別国民医療費  
40兆8,071億円



括弧なし数値は推計額（単位：億円）、括弧内の数値は構成割合（単位：%）。

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20  
神谷町MTビル